

月刊 G S I マップニュース

第 86号 4 ページ

平成 11年 11月 25日発行

あ
て
先

様

通
信



トピックス

細密数値情報「中部圏」「近畿圏」の提供開始

国土地理院は、「中部圏」「近畿圏」の土地利用データをまとめた「細密数値情報(10mメッシュ土地利用)」CD-ROMの提供を11月15日から開始しました。

「細密数値情報(10mメッシュ土地利用)」には、約5年間隔で調査した5時期(約20年間)分の土地利用データがあり、その1時期分を1枚のCD-ROMに収納しています。

このデータを用いることにより、パソコン画面上に土地利用の現状や変化を表示することができるほか、任意の地域における集計や解析を行うことができます。

今回の提供により、昨年からの提供を始めた「首都圏」データとあわせて、三大都市圏の土地利用データが整備されたこととなります。 [4 ページに詳細]

地理情報標準推進委員会を開催

国土地理院は、11月17日、平成11年度の第1回地理情報標準推進委員会を開催しました。

同委員会は、国土地理院が平成11年度から13年度にかけて行う官民共同研究「地理情報標準の運用に関する研究」において、研究の内容や結果について意見を得ることを目的とするもので、中央大学の伊理正夫教授を委員長として、GIS関連の有識者18名で構成されています。

今回は、代理を含めて16名が出席し、事務局から、地理情報標準の経緯と現状、官民共同研究の概要などについての説明がなされた後、質疑が行われました。

各委員からは、今後の研究の進め方に関して、GISのより一層の普及を進める立場から多くの意見が出され、活発な議論が展開されました。

次回の委員会は、来年3月に開催される予定です。

主な記事

新刊情報 — 平成12年1月1日、2月1日

新刊地図案内

2 ~ 3

つくば便り — 「測量と地図で見る平成の10年」開催中

4

2万5千分1地形図「八重干瀬」を刊行

国土地理院は、沖縄県宮古島北方海域のサンゴ礁域を表示した2万5千分1地形図「八重干瀬」および同地形図作成のために撮影したカラーと赤外カラーの空中写真を、12月1日から刊行します。

「八重干瀬」は、大小100を越す大サンゴ礁群(周囲約25km)で、普段は海面下にあり、年に数回の大潮の時に海面上に姿を現すことから、現地では「幻の大陸」と呼ばれ、この時期に多くの観光客が訪れています。

近年、地元では八重干瀬の環境保全と観光資源としての活用について議論がされる中で、詳細な地形図の整備が強く望まれていました。

地形図「八重干瀬」は、A1判の縦サイズで、従来の地形図2枚分の大きさです。サンゴ礁の表示は、最大干潮時に海面上に現れるサンゴ礁と、海面下のサンゴ礁を区分して別の記号で表示しています。また、代表的なサンゴ礁については名称も表示しています。

[位置図3ページ]

第135回地震予知連絡会を開催

国土地理院は、11月15日、関東地方測量部において、第135回地震予知連絡会を開催しました。

会議では、全国各地の地震および地殻変動などについて、大学、関係観測研究機関などより観測・研究成果の報告があり、議論が行われました。

今回のトピックスとして、8月17日のトルコの地震(M7.4)および9月21日の台湾中部の地震(M7.7)についての観測・調査結果の報告があり、討議が行われました。また、10月に開催されたGPS国際シンポジウムにおけるGPSによる地殻変動検出などの動向についても報告がありました。

新刊情報

地図の価格と購入方法

- 【主な地図の価格】
 1万分1地形図(5色) 450
 2万5千分1地形図 270
 5万分1地形図(4色) 290
 20万分1地勢図 320
 50万分1地方図(4色) 650
 100万分1日本 650
 100万分1国際図 890
 300万分1日本とその周辺 890
 1万分1火山基本図 590
 (円：消費税込み)

【購入方法】

国土地理院刊行の地図を取り扱っている全国の書店等でお買い求め下さい。また、通信販売を利用することもできます。通信販売のお申し込みは下記へ。

(財)日本地図センター
 〒153-0042

東京都目黒区青葉台4-9-6
 TEL 03-3485-5414

国土地理院の刊行地図に関するお問い合わせは下記へ。

建設省国土地理院企画部
 情報管理課生産管理係
 〒305-0811

茨城県つくば市北郷1番
 TEL 0298-64-1111

(内線 3351)

数値地図の価格と購入方法

【価格:1枚(消費税込み)】

FD : 6,000円

CD-ROM : 7,500円

【購入方法】

数値地図を購入する場合は、下記へ直接お申し込み下さい。また、国土地理院の地図を取り扱っている書店でも取り次いであります。

(財)日本地図センター
 普及販売部
 TEL 03-3485-5414

刊行地図面数

(平成11年11月1日現在)

1万分1地形図 286面

2万5千分1地形図 4,352面

5万分1地形図 1,291面

20万分1地勢図 130面

新刊地図案内

平成12年1月1日、2月1日刊行予定

平成12年1月1日刊行

2万5千分1地形図(証判3色) 1面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
高松北部	徳島 14-4	11年 部分修正	高松琴平電鉄琴平線「瓦町駅」の改良、高松港の埋立

平成12年2月1日刊行

1万分1地形図(四六半裁判折図5色) 1面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
三宮	京都及大阪 16-2-2	11年 修正	阪神高速3号神戸線の復旧、ルーフの復旧、神戸港港島1号の完成、摩耶埠頭・新港東埠頭・中央堤の埋立拡張

2万5千分1地形図(証判3色) 19面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
幌満	広尾 16-4	11年 部分修正	幌満1号の完成、湾岸整備
津	一関 8-1-3	"	国道45号線ルーフの完成、郵便局・駐在所の移転・新設
中茂	福島 9-2	"	国道399号線の改良、小学校の移転
山石	水戸 10-1	10年 部分修正	上入野ルーフの開通、境界変更(常陸太田市・金砂郷町)
宇都宮西部	宇都宮 1-4	"	宇都宮鹿沼有料道路の完成、鹿沼環状線の一部完成、住居表示の追加
浦茶	横須賀 5-2	10年 修正	一般道の改良・拡幅、宅地造成
白	山豊橋 5-2	11年 部分修正	国道151号ルーフの完成
宮	津宮 15-2	"	一般道の改良、天橋立駅前郵便局の移転
三	" 16-4	11年 修正	国道426号登尾1号の完成
宇	京都及大阪 3-4	11年 部分修正	一般道の改良・拡幅、林道の完成、東城陽グランドの完成
戸倉	姫路 5-3	10年 部分修正	一般道大屋波賀線若杉ルーフの完成
徳島	徳島 8-2-4	11年 部分修正	眉山ルーフの無料化、一般道の完成
阿波	剣山 9-1	"	国道438号の拡幅、一般道の拡幅
郡	松山 6-1	"	一般道の改良、居住表示の追加
三	" 12-2	"	一般道の改良・拡幅、三角点の表示
かん	福岡 2-1	"	居住表示の追加、三角点の表示
行	" 2-2	"	JR行橋駅の高架化
甘	" 8-1	"	居住表示の変更、ゴルフ場の完成
脇	鹿児島 6-4	"	一般道の完成および拡幅、ゴルフ場の完成

表の見方

5万分1地形図(証判4色)5面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
みづ 宇都宮	2	11年 修正	国道121・352・408号の表示、JR真岡線の第3セクター化(真岡鐵道)
たかまつ 徳島	15	"	国道11号(八幡又高松自動車道)の完成、国道377号の改良
やま 浜田	8	"	国道433号の指定、町役場の移転(高宮町・美土里町・千代田町)
まつやま 松山	2	"	松山自動車道(川内IC~伊予IC)の完成
すくも 宿毛	7	10年 要部修正	土佐くろしお鉄道宿毛線の完成

用紙の大きさ

証判 460 × 580
 菊判 636 × 939
 四六判 788 × 1091
 四六半裁判 520 × 738
 (単位mm)

図名

地図の名称で、その地図中に表示されている地名の中で最も著名なものを採用することが多い。山、湖沼、岬、島などの名称を採用することもある。

地図番号

地図の地球上における位置を示すもので、分類するのに便利のように系統的につけてある。2万5千分1地形図と5万分1地形図の地図番号の中の地名は、その地形図が含まれる20万分1地勢図の図名。

実施年

地図の現地調査を実施した年、若しくは編集を行った年。

種別

[修正]

修正測量の略称で、地図を定期的に全面修正する測量。

[改測]

すでに作成された2万5千分1地形図を新たに作成しなおすこと。

[部分修正]

部分修正測量の略称で、定期修正とは別に、1万分1地形図及び2万5千分1地形図の表示事項の一部に、現況との顕著な相違が生じた場合に、応急的に修正する測量。

[要部修正]

5万分1以下の縮尺の地図の部分修正。

[編集]

2万5千分1地形図とその他の資料を用いて、道路・家屋・等高線等の表示事項を取捨選択するなどして、5万分1地形図を作成すること。5万分1地形図から20万分1地勢図等を作成する場合も同様。

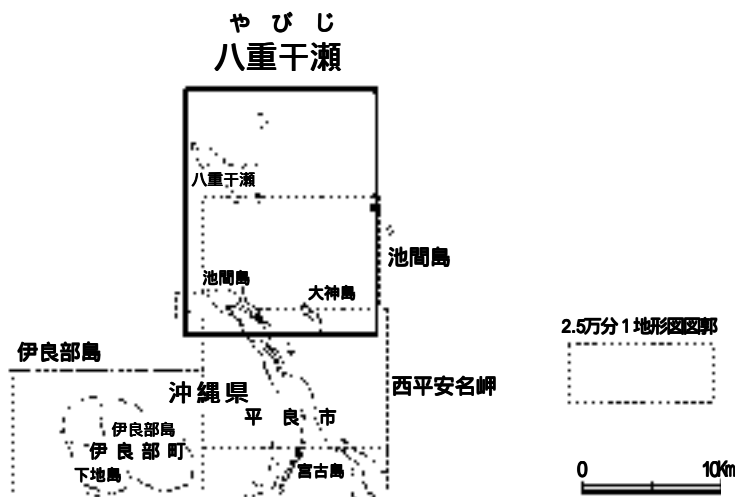
備考

修正事項等の中から特徴的なものを1~2選んで示した。

2万5千分1土地条件図(四六判折図・表5色裏1色)1面

図名	実施年・種別	備考
わかやま 和歌山	8・9年 調査・編集	

2万5千分1地形図「八重干瀬」位置図



つくば便り

企画展示「測量と地図で見る平成の10年」を開催中

「地図と測量の科学館」では、天皇陛下御在位10年記念として、11月12日から12月25日まで、企画展示「測量と地図で見る平成の10年」を開催しています。

この企画展示では、天皇陛下御一家と国土地理院のかわりをはじめ、平成10年間の測量・地図に関する新技術のトピックスや測量技術、地図作成技術、GIS（地理情報システム）の基盤整備と応用、災害時の緊急対応などに関する測量機器や各種測量・地図データなどを年表と写真、地図類で紹介しています。

細密数値情報（10mメッシュ土地利用）
CD-ROMの調査時期と整備地域

このデータは、約5年毎に行われる宅地利用動向調査をもとに作成された土地利用に関する数値情報です。調査は首都圏、中部圏、近畿圏について実施されています。

1枚のCD-ROMには、1時期の10mメッシュ土地利用データのほか、土地利用画像、10mメッシュ行政区域データ、簡易表示ソフトが収録されています。

首都圏

第1時期	1974年
第2時期	1979年
第3時期	1984年
第4時期	1989年
第5時期	1994年



中部圏

第1時期	1977年
第2時期	1982年
第3時期	1987年
第4時期	1991年
第5時期	1997年



近畿圏

第1時期	1974年
第2時期	1979年
第3時期	1985年
第4時期	1991年
第5時期	1996年



第41次南極地域観測隊に職員を派遣

11月14日正午、第41次南極地域観測隊が、南極観測船「しらせ」で晴海埠頭から昭和基地を目指して出港しました。

この観測隊には、国土地理院から筒井地形課地形第一係長が夏隊員として参加しています。オングル島やオメガ岬においてGPS精密測地網測量や露岩域変動測量などの測地定常観測を行うほか、オングル島の縮尺3万分の1のカラー空中写真撮影を実施します。

来年3月27日には、第40次南極地域観測隊の越冬隊に参加している測地第一課福岡技官とともに帰国する予定です。



海面上昇の影響の総合評価に関する研究でタイへ職員を派遣

国土地理院は、11月1日から5日まで、「海面上昇の影響の総合評価に関する研究」の現地調査のため、吉川地理第二課長補佐、羽生技術専門職をタイへ派遣しました。

この研究は、環境庁環境研究総合推進費により、アジア太平洋地域の海面上昇の影響評価を適切に行うためのガイドラインの作成とタイをモデル地域とした影響評価データのGISによる統合化を目的としています。

今回の現地調査では、昨年度の研究結果および今年度の研究内容について現地研究者と意見交換を行うとともに、簡易水準測量、簡易験潮場の設置および取付水準測量、土地利用状況の調査を行いました。また、昨年度までに取得している比高データや土地利用データなどをもとに作成した数値地形モデルの精度検証も実施しました。

編集	国土地理院ニュースレター編集委員会
発行	建設省国土地理院企画部
	〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
	TEL 0298-64-1111 FAX 0298-64-1658
	連絡先: 企画調整課 研究調整係(テクノス)
	情報管理課 生産管理係(マップス)
	国土地理院ホームページのURL
	http://www.gsi-mc.go.jp/